

令和4年3月10日発行

演劇・映画の専門図書館

# 松竹大谷図書館ニューズレター

No. 288(2022年3月)

## ■文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点(ARC-iJAC)」2021年度成果発表会ご報告

日時：2022年2月25日(オンライン)

発表者：井川繭子(松竹大谷図書館)/村島彩加(明治大学兼任講師)

松竹大谷図書館は2014年より、立命館大学アート・リサーチセンターの日本文化資源デジタル・アーカイブ研究拠点の共同研究に参加しているが、毎年この時期に開催される成果発表会で年度ごとにプロジェクトの報告を行っている。今年は2月25・26日の2日間にわたってオンラインで開催された。全体で44ものプロジェクトの報告があり、発表者も国内外から多数の研究者が参加して年々規模が大きくなっていて、研究者同士の交流の場にもなっている。当館のプロジェクトの課題は「演劇上演記録データベースを活用した、演劇資料画像検索閲覧システムの構築に関する研究」で、松竹大谷図書館の武藤を研究代表者とし、研究分担者として立命館大学文学部教授の赤間亮先生、明治大学兼任講師の村島彩加先生、早稲田大学演劇博物館助教の原田真澄先生、明治大学理工学部兼任講師の武田寿恵先生と、松竹大谷図書館の井川の計6名で研究メンバーを構成している。今回は村島先生と松竹大谷図書館の井川の2名で発表を行った。

まず前半は井川から、共同研究プロジェクトの概要として、松竹大谷図書館のご紹介と公開中のデジタル・アーカイブの説明を行った。松竹大谷図書館がオンライン上で一般公開している芝居番付や組上燈籠絵のデータベースは、HPにある「デジタル・アーカイブ」のバナーからアクセスできるようになってい

るが、実際はARCのデータベース上で運営・管理されており、同データベース上のポータルデータベースより、他機関所蔵資料との横断検索もできるようになっている。ARCよりデータベースのプラットフォームを提供していただいているおかげで、当館のデータベースは公開を続けることができているのである。

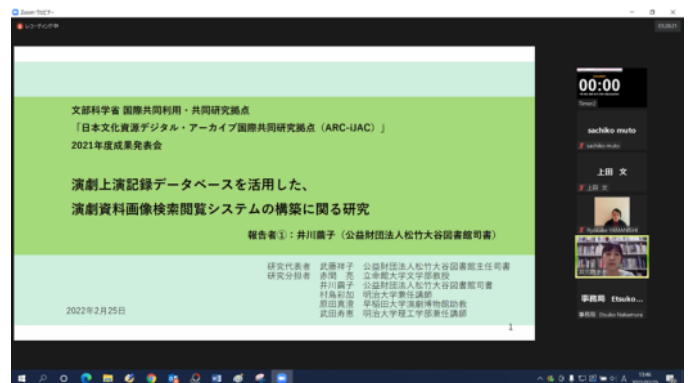
続いて、2021年度プロジェクトの成果の一つ、演劇上演記録データの進捗状況として、2015年より開始した舞踊会プログラムを用いた演劇上演記録データの考証入力が2021年度で終了する見込みが立ったことをご報告した。今後は入力したデータから舞踊会プログラムの所蔵情報を作成して松竹大谷図書館蔵書検索システム(OPAC)へ登録を進め、松竹大谷図書館の所蔵する他の資料と共にweb検索できるようにする予定である。また舞踊会プログラム目録データベースの構築も検討している。

もう一つの成果である歌舞伎プロマイドの考証作業については、第8弾のクラウドファンディングでデジタル化の資金を調達してARCで撮影及びデータベース構築までが終了しており、現在は写真の考証と書誌情報の入力を分担して進めている。こちらは公開準備中だが、ある程度考証が終了したところから、段階的に公開していく予定である。

また予告として、2022年度に申請中のプロジェクトで行う歌舞伎座筋書の書誌情報入力についてもご説明した。明治期から戦前までの東京歌舞伎座の筋書については、第9弾のクラ

### 目次:

文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点(ARC-iJAC)」2021年度成果発表会ご報告	1-2
第90回所蔵資料展示「OSK日本歌劇団創立100周年」	2
荒川明照先生がご逝去されました	3
歌舞伎座筋書に【松竹大谷図書館の名品】第3回が掲載されています	3
新着資料案内	3
資料をご寄贈くださった方々	3
公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	4
松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い	4
休館のお知らせ	4
利用案内	4



松竹大谷図書館スタッフ井川発表画面

ウドファンディングでデジタル化の資金を調達してARCで撮影、松竹大谷図書館の芝居番付検索閲覧システムへの搭載が完了している。来年度は公開へ向けて、演目や興行名などの書誌情報の入力作業を進める予定である。

最後にまとめとして、今まで行ってきた演劇資料の画像データベース化により、演劇上演記録や演劇資料の書誌情報をweb上で考証入力に活用できるなど、画像検索閲覧システムをより効率的に充実させることができるようになり、各データベースが連動してきたと実感していることなどを挙げた。

続いて、歌舞伎の古写真研究がご専門の村島先生より、松竹大谷図書館が所蔵する歌舞伎ブロマイドを用いた研究の意義について、研究者の視点から解説していただいた。明治大正期の演劇写真データ公開がもたらす学術的影響力として、第一には、近代日本演劇史研究における歌舞伎の近代化を考察する上での資料となること、第二には、従来の研究では読み取ることが難しい同時代の観客の関心の在処を知る手がかりとなること、第三には、他分野(日本史、歴史写真研究)への影響、が挙げられるという。このうち、第二の点について、明治9(1876)年頃に撮影された、髻を落とした九代目市川團十郎が写っている写真を例に、当時の写真が持つメディアとしての話題性について指摘された。また、第三の点について、

歌舞伎俳優の扮装写真は撮影時期や撮影者などの情報が比較的特定し易いことから、写真の台紙デザインの情報なども併せて、他分野への援用が可能となることなどを解説された。そして今後の課題として、国内外の研究者や一般に向けて本研究の意義と成果を広く伝えること、他分野の研究者との共同研究の推進などを挙げていただいた。

当プロジェクトの発表は以上だが、研究対象や専門分野も様々な他の研究発表も興味深く聞くことができた。ARCの運営するデータベースには、浮世絵や古典籍、写真などの資料閲覧データベースや、興行年表や人名などについてのレファレンスデータベースなどがあり、各プロジェクトが作成した多数のデータベースが搭載されている。各データベースはポータルデータベースで関連付けられており、所蔵機関の横断検索や検索結果から他の関連データベースにリンクして参照することができる。各データベース上にある情報や画像を取り込んで使える研究用のプラットフォームなども考案されており、研究者の利用に便利な機能が開発されている。2日目の閉会挨拶で、ARC副センター長の赤間先生は、各プロジェクトで多くのデータベースや画像、動画が作成されているが、プロジェクトが終了してもそのままにせず、将来の活用と保存の視点からもARCのデータサーバ上に残してほしいと述べられていた。貴重な資料をデジタル化したとしても、将来に引き継がれなければあまり意味がない。デジタルデータの保存は、将来の天災等も見越して考えておかなければならない大きな課題であり、デジタルデータを日本文化資源として保存するというARCの方針は大変有意義なものである。松竹大谷図書館もデジタルアーカイブを公開する一機関として、今後ともARCと提携して所蔵資料の公開を行っていきたいと思う。



村島先生発表画面

**▽松竹大谷図書館デジタルアーカイブ**

<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/da/da.html>

**▽文部科学省 国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点 (ARC-JAC)」2021年度成果発表会プログラム**

<https://www.arc.ritsumeimei.ac.jp/j/news/pc/013379.html>

**■第90回所蔵資料展示「OSK日本歌劇団創立100周年」** 展示期間:令和4[2022]年3/17~4/27 於 閲覧室

令和4[2022]年は、OSK日本歌劇団の創立100周年にあたります。大正11[1922]年4月大坂にて誕生した「松竹楽劇部」を前身とするOSKは、幾たびかの名称変更を経つつ、長年にわたり華やかなレビューで観客を魅了してきました。今回の展示では代表的な演目である『春のおどり』の初演プログラムや、大阪の松竹楽劇部の人気を受けて創設され、後にSKD(東京松竹歌劇団)となる東京松竹楽劇部との合同公演の資料、歴代の

■展示予定資料一覧(変更の可能性あり) ■「松竹座ニュース」特輯・附「暑中御見舞」/「大劇週報」第16号【プログラム】大正15年4月1日大阪松竹座『春のおどり 花ごよみ』/昭和3年12月7日浅草松竹座『奉祝行列』/昭和9年3月1日大阪松竹座『第九回春のおどり さくら音頭』/昭和9年9月29日大阪劇場『青春の花束』/昭和23年6月30日『夏のおどり』/昭和57年9月18日-11月30日あやめ池円型大劇場『OSK秋のおどり グランド・ロマンス 楊貴妃』/平成13年3月17日-5月6日あやめ池円型大劇場『長ぐつをはいたネコ』/平成24年4月12日-22日大阪松竹座『レビュー 春のおどり』【チラシ】平成16年4月8日-12日大阪松竹座『レビュー 春のおどり』【スチール写真】昭和5年12月4日東京劇場『松竹大レビュー第二回公演』の内『シャラン』/「楽屋スナップ写真」秋月恵美子、芦原千津子、勝浦千浪、南幸子、京マチ子他/昭和24年10月1日大阪劇場『秋のおどり』/平成15年3月21日-5月5日あやめ池円型大劇場『THE PHOENIX 不死鳥伝説』/平成28年7月2日-4日新橋演舞場『レビュー 夏のおどり』/平成31年3月28日-31日新橋演舞場『レビュー 春のおどり』/令和3年3月26日-28日新橋演舞場『レビュー 春のおどり』【雑誌】『桜タイムズ』Vol.1

※閉館日時につきましては、状況の変化にともない変更の可能性があります。随時当館のHP、Facebookの投稿をご確認下さい。また、お電話でもご案内いたしますので、ご来館前にお問い合わせ下さい。  
電話:03-5550-1694(平日:10時~17時)



『春のおどり』プログラム 左より大正15年、昭和9年

拠点劇場の大阪劇場(大劇)や、あやめ池円型大劇場プログラムなど、戦前から近年までの資料を幅広く展示いたします(3/17より)。

## ■荒川明照先生がご逝去されました

当館は、新作歌舞伎の優れた脚本に贈られる大谷竹次郎賞を松竹株式会社と共催し、副賞のレリーフを受賞者に贈呈しています。そのレリーフを制作して下さっていた、東京藝術大学名誉教授で歌舞伎座の筋書挿絵でもおなじみの荒川明照先生が、3月1日に90歳でご逝去されました。先生の作品は、受賞の重みを感じて欲しい、という事から陶製の皿の額に鋳造の鳳凰が取り付けられた物で、陶器の温かみから先生のお人柄が伝わってくるようなレリーフでした。謹んで先生のご冥福をお祈り致します。



平成27年度の副賞の記念レリーフと共に



当館スタッフと荒川先生(平成26年)

## ■歌舞伎座筋書に【松竹大谷図書館の名品】第3回が掲載されています

当館スタッフが執筆を担当する歌舞伎座筋書連載【松竹大谷図書館の名品】。3月は「伊藤熹朔舞台装置図」です。当館には、舞台美術家として名高い伊藤熹朔に関する資料が約1700点余り寄贈されています。今回の連載では、実際の舞台のスチール写真と共に『鳥辺山心中』の舞台装置図をご紹介します

しています。なお、伊藤熹朔舞台装置図は早稲田大学演劇博物館の「演劇博物館デジタル・アーカイブ・コレクション」の「舞台装置関連資料データベース」で公開されています。

### ▽「演劇博物館デジタル・アーカイブ・コレクション」

<http://www.waseda.jp/enpaku/db/>

## ■新着資料案内 (ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系2月演劇公演資料		○ … 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『元禄忠臣蔵 御浜御殿綱豊卿』	○	○		
	『石橋』		○		
	『春調娘七種』		○		
	『義経千本桜 渡海屋・大物浦』	○	○	○	○
	『鬼次拍子舞』	○	○		
新橋演舞場	『有頂天作家』	○		○	○
	『陰陽師 生成り姫』			○	○
シアターコクーン	『天日坊』	○		○	
シアター六本木	『ハナゾチル』	○			
南座	京都五花街合同公演『早春夢舞台』				
松竹座	『レビュー春のおどり』	○		○	○
	『早春松竹お笑い寄席 in大阪松竹座』				
博多座	『口上』	○			
	『鶴亀』			○	
	『日本振袖始』	○			

◆他社演劇公演資料 (2021年12月-2022年2月) (順不同) 『朗読劇 天切り松閣がたり 闇の花道』パルコ劇場プログラム/『リトルプリンセス』シアタークリエイティブプログラム/KERA CROSS『SLAPSTICKS』シアタークリエイティブプログラム/『笑う男』帝国劇場プログラム/『ラ・マンチャの男』日生劇場プログラム/『あーぶくたった、にいたった』新国立劇場小劇場プログラム/劇団民藝『レストラン「ドイツ亭」』紀伊國屋サザンシアターTAKASHIMAYAプログラム/『初世藤間紫十三回忌追善三代目藤間紫襲名披露 紫派藤間流舞踊会』国立劇場大劇場プログラム/『マダー・フォー・トゥー』シアターコクーンプログラム

◆映画資料 『銀河英雄伝説 Die Neue These 激突 第一章』プログラム

◆映画プログラム (順不同) 『ザ・ユナイテッド・ステイツvs.ベリリー・ホリデイ』『嘘喰い』『マヤの秘密』『ドリームプラン』『白い牛のパラッド』『ブルー・バイユー』『白いトリュフの宿る森』『オペレーション・ミンスミート ナチを欺いた死体』『ライブ・ウィズ・ミュージック』『シラノ』『ウエスト・サイド・ストーリー』『余命10年』『クライ・マッチョ』『子どもたちをよろしく』

◆演劇雑誌 (順不同) 『AAC』Vol.111/『Confetti』2022年March/『DRAMAかながわ』85号/『JATET』No.90/『JPL』No.83/『SePT倶楽部 information』2022年1月号/『act guide [アクトガイド]』2022 Season 10/『omoshii PRESSオモシイ・プレス』Vol.17, Vol.18, Vol.19/『あぜくら』2022年2月号/『ほうおう』2022年4月号/『テアトロ』2022年3月号/『ラ・アルプ』2022年3月号/『演劇界』2022年4月号/『喝采』2022年5月/『御園座演劇図書館Newsletter』Vol.47/『国立演芸場公演ガイド』令和4年3月号/『新制作座だより』22号/『大向う』令和4年2月号,3月号/『長唄』130号/『日本芸術文化振興会ニュース』2022年3月号/『日本照明家協会誌』2022年2月号/『日本舞踊』74巻3月号/『悲劇喜劇』2022年3月号/『文化座』193号/『名古屋芸能文化』31号

◆映画雑誌 (順不同) 『FLIX』2022年4月号/『NFAJニューズレター』15号/『SCREEN』2022年4月号/『TVガイド』2022年2/11号,2/18号,2/25号,3/4号/『おとなのデジタルTVナビ』2022年4月号/『キネマ旬報』2022年3月上旬号,3月下旬映画業界決算特別号,増刊キネマ旬報NEXT Vol.40/『シナリオ』2022年3月号,4月号/『シナリオ教室』2022年3月号/『ドラマ』2022年3月号/『ピクトアップ』2022年4月号/『映画テレビ技術』2022年3月号/『映画芸術』478号/『映画撮影』No.230/『映画時報』2022年1月号,2月号/『映画秘宝』2022年4月号/『月刊ドロキ・ユキコ』43号/『日経エンタテインメント!』2022年3月号/『日本アカデミー賞協会会報』90号/『文化通信ジャーナル』2022年3月号

## 資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2021年12月-2022年1月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、シナリオ・センター、株式会社日本舞踊社、歌舞伎学会、国立歴史民俗博物館、古井戸秀夫、愛知芸術文化センター、国立劇場、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、演劇出版社、キネマ旬報社、一般社団法人日本民間放送連盟、MOVIX日吉津、文学座、日本映画テレビプロデューサー協会、独立行政法人日本芸術文化振興会(国立劇場)、神奈川県演劇連盟、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館、有限会社合同通信社、シアタークリエ、銀座 博品館劇場、木谷真紀子、丸善出版株式会社、安孫子正、株式会社カモミールシアトロ編集部、若林さだ吉、樽松大剛、公益社団法人日本照明家協会、おとなのデジタルTVナビ編集部、公益社団法人日本演劇興行協会、御園座演劇図書館、帝国劇場、株式会社松竹マルチプレックスシアターズ、ワイズ出版、博多座、(株)近代映画社、宮内和行、こまつ座、東宝株式会社映像事業部、博物館明治村、銀座百店会、株式会社セクターエイティエイトKENSYO編集部、おもだか会、公益財団法人日本近代文学館、黒澤明研究会会誌、邦楽の友社、公益社団法人日本劇団協議会、ポーラ文化研究所、特定非営利活動法人 国際人形劇連盟日本センター、東京都江戸東京博物館、人形劇団ブーク、国立映画アーカイブ、劇団民藝、無声映画鑑賞会、田中拓也、東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)、葛西聖司、岩波ホール、劇団青年座、墨染会、公益財団法人東京歴史文化財団、紀伊國屋ホール

どうもありがとうございました

## 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ持続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）令和4[2022]年2月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座  
歌舞伎座サービス株式会社  
歌舞伎座舞台株式会社  
有限会社合同通信社  
松竹株式会社  
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター  
松竹音楽出版株式会社  
松竹芸能株式会社  
株式会社松竹サービスネットワーク  
松竹ブロードキャスティング株式会社  
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

どうもありがとうございます

## 松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話でのご確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

当館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせて頂いております。

《現在のご利用について》（※2021年11月1日改定）

- 開館時間 10:00～17:00
- ご来館前日（※休館日を除く）までに、お電話でのご予約をお願い致します。  
当日のご予約は、お席に空きがあった場合のみ承ります。  
松竹大谷図書館 03（5550）1694（平日10時～17時）
- 展示はご予約なしでご覧頂けます。状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます。

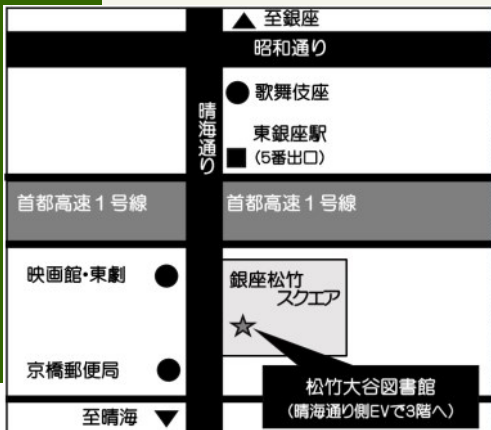
《ご予約について》

- ★10時から17時まで、1時間ごとに最大3時間までご予約頂けます。
- ★ご予約の際、お名前、人数、ご希望日時、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★ご同伴者はお一人までで、出来るだけお一人での来館をお願い致します。
- ★一日のご利用冊数は、18冊まででお願い致します。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用頂けない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/211101.html>

令和4年3月3日（木）より  
3月16日（水）まで  
春期整理休館のお知らせ  
3月17日（木）より開館いたします



- 利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
- [入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分



編集・発行：公益財団法人 松竹大谷図書館  
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階  
TEL:03-5550-1694  
公式HP● <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>  
公式Facebook● <https://www.facebook.com/Shochikuotanitoshokan/>